

## 2. J-Debit 導入事例の紹介



日本郵政公社様

「ゆうちょ」でおなじみの郵便貯金のキャッシュカードによるJ-Debitの取引件数は、全体の取り扱い件数の多くを占めます。J-Debit普及のために、どのような取組みをされているか、また、日本郵政公社として新たなスタートを迎えられての抱負を、郵便貯金事業本部営業部の田坂さん、長野さんにお伺いしました。

### ■ 法人向けPR

一般に営業窓口として思い浮かぶのは、全国各地にある郵便局ですが、法人にとっての営業窓口にあたるのが、郵便貯金サービスセンターです。自動払込みや給与預入等の企業向け送金・決済サービスの導入をすすめる、法人加盟店開拓の拠点で、全国86ヶ所にあります。サービスセンターでは、年に数回実施される研修で、営業方針や新サービスの説明等を行っており、J-Debitについても、サービスの内容やセールスポイントについて、研修を実施されています。研修を受けた職員の方々は、企業を訪問される際にJ-Debitについて説明したり、関連記事の掲載された冊子を持参し、普及活動に努められています。口座振替受付サービスのご利用を勧める際は、「初回はデビット決済で」など、合わせ技も駆使されているとか。

J-Debitの理解促進と、告知という点で力を入れられている、社内誌とPR誌の2つをご紹介します。



< Green Sales & ビジネス ナウ >

### ■ 職員向け月刊誌「Green Sales」

「全国の郵便局にも数冊ずつ配布している」という、職員向け月刊誌「Green Sales」(A4、30数頁)は、一般的な社内誌とはちょっと趣きが違います。

営業推進事例や研修模様、商品、法律、実践講座といった日々の業務に役立つ専門知識満載。当然、J-Debitの詳細情報も！

社内誌といいますが、兎角、忙しさに紛れて読まずじまい、といった感がありますが、「皆さん読んでますよ！」と業務支援マニュアルとして認識されている模様。こういった媒体を利用した知識共有も図られています。

### ■ お客さま向け季刊誌「ビジネス ナウ」

一方、お客さま向けに作成されているのが季刊誌「ビジネス ナウ」(B5、10数頁)。

こちらは、職員が取引先の企業に持参したり、郵便局に設置され、キャッシュカードホルダーの目にも触れるものです。話題の人や健康、料理といった生活情報も掲載され、一般の人に興味を持って読んで頂ける情報誌となっていますが、毎号必ず掲載されているのが「デビットカード加盟店◆訪問記」。読み物のひとつとして、利用シーン等が分かり易くインプットされそうです。更に別コーナーでは「あなたのお店もデビットカードで顧客拡大と決済事務の合理化を」とJ-Debit導入をPR！営業ツールとしても活用されています。

### 日本郵政公社様からひとこと

平成15年4月から日本郵政公社がスタートしました。

私たちは、公社になって、お客さまにもっともっと喜んで郵便貯金をご利用いただけるよう、「お客さま第一」を基本とした郵便貯金事業のサービスのより一層の向上に努めて参りたいと考えております。

また、併せて、J-Debitの普及に向けても頑張っ参りますので、これからもよろしくお願いたします。

(郵便貯金事業本部営業部)

名 称：日本郵政公社  
本店所在地：東京都千代田区  
<http://www.japanpost.jp>